

コードレス掃除機用非純正バッテリーパック
(10/29経済産業省注意喚起の件) の
放電方法等について

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (N I T E)
製品安全センター

バッテリーパック※の放電方法

- ① シンク、可燃物のない屋外等で、水（常温）を張ったバケツを用意する。
- ② 充電式掃除機にバッテリーパックを装着（固定用のビスは留めない）する。
- ③ 手のひらと指で、バッテリーパックの底面と上面をはさみこむように片手をバッテリーパックにあてがい、バケツの上で掃除機を運転（モード選択できる機種であれば中程度で）する。
- ④ そのまま、電池切れになる（バッテリーパックのパイロットランプが点滅）まで掃除機を動かす（10～20分程度）ことによって、放電状態とする。
- ⑤ この間、次の異常を一つでも認識した場合は、即座に運転を中止し、バッテリーパックを取り外してバケツに投入する。
 - 発煙（掃除機の運転ボタンや、固定用ビスの穴からの発煙が想定される）
 - 異臭（焦げ臭いにおい）
 - 異常な温度上昇を手指に感じる（通常は40℃程度）

※やけどには、十分ご注意ください

※次の事業者が輸入した、型式・ロット番号製品が対象です。

(有)すみとも商店

Orange Line DC60 20001 V6 2200

Orange Line DC60 20006 V6 2200

Orange Line DC60 20007 V6 2200



ロワ・ジャパン(有)

DC62-J A010

DC62-J A012

DC62-J B101

DC62-J B103

DC62-J B104



<参考>

<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211029005/20211029005.html>

バッテリーパックの放電方法



①水を張ったバケツを準備



②バッテリーパックを掃除機に装着



③ビス留めは行わない



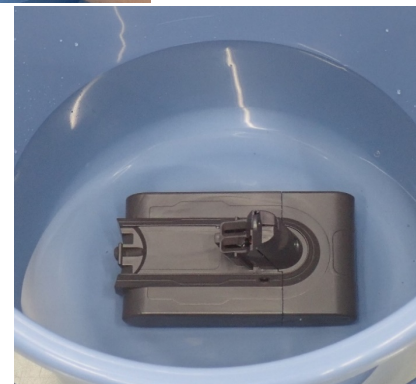
④手のひらをバッテリーパック底面、指をバッテリーパック上面にあてがう



⑤バケツの上で、電池切れになるまで掃除機を運転

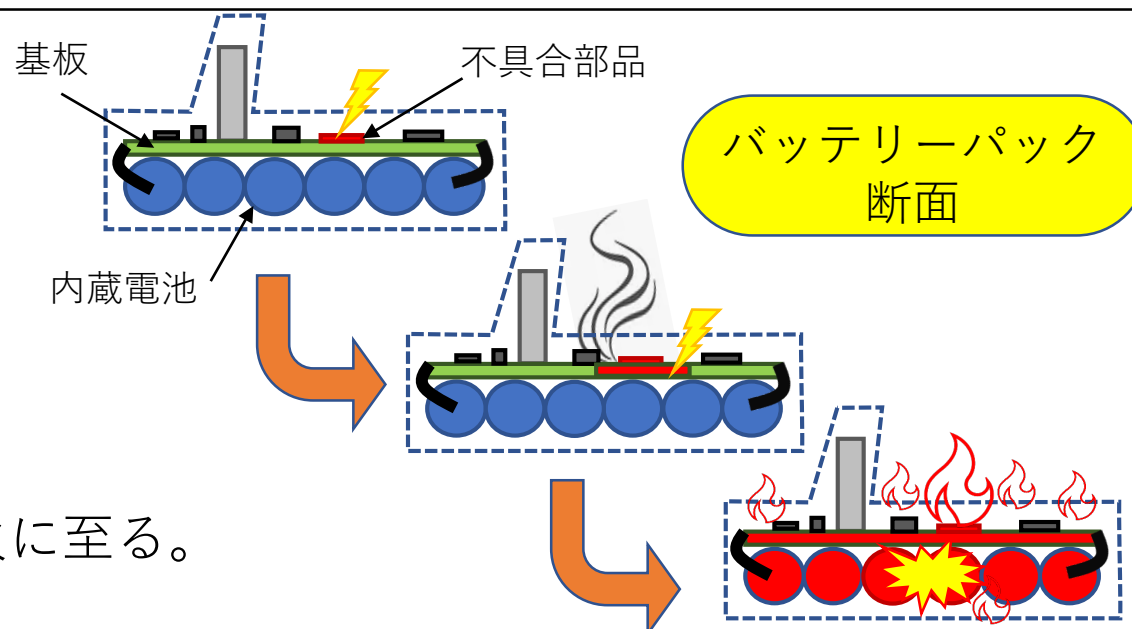
運転中、パイロットランプは「点灯」します。電池切れになると、パイロットランプが「点滅」状態になります。

※万が一、発煙や異臭等の異常があった場合は、バッテリーパックを取り外してバケツ（水中）に投入します。
→経済産業省のニュースリリース内（注1）の記載に従って、塩水処理をお願いいたします。



現時点で推定される事故メカニズムと安全対策について

- ①基板上の電子部品に不具合が生じる。
内蔵電池から不具合部品へ異常な電流が流れる。
- ②不具合部品が異常発熱して基板が焼損。
焼損・炭化した基板に異常電流が流れ続ける。
- ③その熱の影響で、内蔵電池が熱暴走して、発火に至る。



バッテリーを放電することで、基板部品に流れる電流が小さくなり、発火を防ぐことができることを確認しました。

不具合が生じる電子部品に、掃除機運転（放電動作）に伴う電流は影響しません※次項ので、放電動作によって発火のリスクが高まることはありません。現在確認できている過去の重大製品事故（9件）は、すべて運転中以外に発火しています。また、NITEの調査過程において、20台のバッテリーパックで実際に放電動作を行っておりますが、発火等の事象は起きておりません。

なお、放電動作中に上記メカニズムの①が発生する可能性がゼロとは言えませんので、放電動作中に発煙等が起きた場合には、ただちに運転中止等の対応を御願いしています。

※放電動作によって発火のリスクが高まることはありません。

- ・ 不具合の生じる電子部品は、ICに電源を供給する電子回路に用いられています。
- ・ 掃除機を運転するための電流は、この電子回路には流れません。
- ・ このため、放電動作によって、発火のリスクが高まることはありません。

